

1. 愛知県 2. 静岡県 3. 岐阜県 4. 滋賀県

1. 夜間に人工的な光を当てることで、ビニールハウス内の温度を高め、成長を早める促成栽培を行っている。	2. 夜間に人工的な光を当てることで、植物の性質を利用して開花時期を遅らせる抑制栽培を行っている。	3. 夜間に強い光を当てることで、害虫の活動を抑え、農薬を使用せずに生産する環境保全型農業を行っている。	4. 夜間に光を当てることで、日照時間を長くし、夏にしか育たない熱帯性の果実を冬に収穫している。
---	---	--	--

1. 福井県 2. 岐阜県 3. 石川県 4. 富山県

1. 夏の涼しい高冷地の気候を活かし、平地での生産が減少する時期に市場へ供給するため	2. 大消費地である東京などに近いため、輸送費を抑えて新鮮なうちに大量出荷するため	3. 化学肥料や農薬を一切使わず、自然のままの環境でゆっくりと時間をかけて育てるため	4. 冬の温暖な気候を活かし、ビニールハウスを用いて出荷時期を大幅に早めるため
--	---	--	---

1. 広大な森林から得られる豊富な木材を、冬の間にソリを使って容易に運び出せたから。
2. 冬の間は積雪によって農作業ができないため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。
3. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及し、機械による大量生産が容易だったから。
4. 乾燥した冬の空気が、漆の乾燥や布の染色を定着させるのに最も適していたから。

1. 広大で平坦な土地を確保しやすい
ため、大型機械を導入して、小麦や
大豆などを大規模に生産する土地利
用型農業を行っている。

2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を
活かし、温室などの設備を用いて出
荷時期を調整しながら、大消費地へ
向けて生産している。

3. 夏の涼涼な気候を活かして、他の
地域で収穫できない時期に野菜を出
荷する抑制栽培を行い、輸送園芸を
成立させている。

4. 季節風を遮る高い山々に囲まれた
盆地の気候を活かし、扇状地を利用
してブドウやモモなどの果樹栽培を
専門に行っている。

1. 関東地方の巨大な消費市場に向けた輸入の中継地点として、周辺加工貿易が盛んになったため。

2. 北九州工業地帯において、鉄鋼業から自動車製造業への産業構造の転換が急速に進んだため。

3. 阪神工業地帯における金属工業の発展により、船体やエンジンなどの大型機械の輸出が増えたため。

4. 中京工業地帯の中核を成す自動車産業の集積が、港の輸出データに強く反映されているため。

1. 伝統的な製薬業から発展した医薬品製造と、豊富な水・電力を活用したアルミニウム加工が盛んである。
2. 原料を海外から輸入しやすい立地条件を活かし、輸入した原油を精製する石油化学工業が中心となっている。
3. 中京工業地帯の一部として、自動車部品や工作機械などの輸送用機械の生産に特化している。
4. 臨海部に大規模な製鉄所と石油コンビナートが立ち並び、重化学工業の出荷額の大半を占めている。

1. 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下している

2. いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学している

3. 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない

4. 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある

1. 鉄鋼業 2. 紙・パルプ（製紙業） 3. 自動車工業 4. 石油化学工業

1. 大規模な海外資本の工場が誘致されたことで急速に発展し、現在は全工程一つの巨大工場で一貫生産している。
2. 豊かな森林資源と水資源を背景とした地場産業であり、環境規制の強化に伴いハイテク産業へと転換した。
3. 京都の伝統的な工芸技術が北陸地方に伝わったもので、貴族や寺社向けの高級品として生産が始まった。
4. 冬の積雪期における農家の副業として始まり、現在は多くの小規模な工場が工程を分担する分業体制によって支えられている。